赤誠其の勤めに勵みあるは満足に思ふ、向又銃後に在りて後援に從ふ者は官民擧つて

に對「殿下より重ねて左の裏官の有難き御言葉を殿」つに次に軍司令官より事塾開係患者並に続後の默毘に聞し言上したる

展品を

色々忙しからう遠慮なく行動せよ

京統御常被の際近は暦年の上御迎送中上ぐる豫定でありま榜題の祭用服教しますことを御路し細願ひ申上げます何重に脚ス線ねて準備中でありまするので軍団令官の明十八日に脚ス線ねて準備中でありまするので軍団令官の明十八日

自以下属に機能機器して居る状態である

たが右重ねくの優議なる御言葉に對し

々感激に堪

今次の事礎に際し戰に傷き又は病患に冒さ の者良く懇切に分り治療看護に力めよ たる將士に對しては寔に氣の毒に思ふ、

の要置の機嫌なる皇后陛下の御音葉を御嫁遁選ばされた紀期子内親王販王朝非平司会部に御成の廃小殿軍司会官

り難き御言葉を賜る

右の要託の御音葉に對し即司令官は左の孤り音上した

まりつつの影響の後属としての協力及動務に傷物し、文本作出飛行で、優下より命討策を脳はり揺戯に堪へませれ、漢澤部梁(『計画の書き』)

御來着本日總督所上即成

らざる第十九師廟共他の部縁は來るべき重大時間に對し 〇〇部隊の後据としての協力及鄰夢に驚痴し、又未仁田

致協力就々奉公の至誠を批げ御日

前心を明れて

重大の砌軍司令官以下途々自軍自要依勵努の上委曲上奏するであらう、現下時局徐々 の上委曲上率するであらう、現下時局徐々詳細に亘り狀況を聽取したに就きては歸京

ける朝鮮軍司令部競表

後徐々一致協力率公の至誠を修ぐるやう 以上軍司令官より各關係方面に傳へよ 校訪カ解願以て、現旨に副ひ奉しむことを明します。選介の御言葉を拜し張懺慇敬の至りに堪へませのこの言葉に到し軍司令官は恐懼し去の通詢本答申

で朝鮮神宮に御参拜の御後

軍司合部

師團司令部に餌成り

**加事題に依る取傷病者の上に即心** 

いたがら <br />
泉層陰下に於かせられ

鮮の防衛に奉じて子者茲に悠迷を

は又近く布を載えて朝鮮の遠域で を注かせられてして動にに現族展

殿下に

謝官以上に列立和器を仰付に

分松本宫宗明弘、祖式御用取扱、

|年司令官初め各郎是、西魏金郎、高||拾ひ記念の細様版を遊ぼされ、

一以下來迎申上行、軍司全官御先導

Y宮内職、中野拓粉神記官等を | 鮮北司合部に御澄、小職軍司令官

**岬入城御第一夜を朝館ホテルに御| 佐伯京城府尹の御説明で熾々たる| 級副官等に単獨拝路を賜はり、** 時十二分經宮神殿、同十四分期 列立無路を仰付けられて神後、後 御展望 遊げされ、同十一高節官以上心職員に對し別第で 玄関正面でおそれ多くも小職軍司 **台官、北對參謀長、二宮聯聯憲兵** 

司令部では焼風中特に川須和鍋を各部隊長 御聽取の神後、本部共

金 朝鮮軍司合都。 前 總督所に御成り 十年版司合即は に成らせられた東久羅宮印設下に 御後の朝鮮ホテルに向はせられた。同四十五分師閣司令部御發、一路

常醴服に威伐を正した南總督は大 澄。これより先き、陸軍大将の通 午後一時三十五分、總督府に御到 可改物物監を初れ本府各局長、官

に際列奉記申上げる 房部、既長を贈へ、正面女郎四側

筆に入らせられ、 御少顔後、 南橋 質は大野政務問題を伴び、御前に に御食料を貼びつく、非坂文香味 妃殿下 には御機威魔は は厳様を正し草獨陽皆霊に入り 碓井人亦啄長の御先将で總督 幾により全く薪たな基礎の上に立陸、海、外、大陸等賭保棚飯の更 行政、經濟、文化三者を統合 せられる。而して封変中央機関機 つ事になったので、最近に至り政

中心とする時、海・外、大戦等の るので、最後の決定に至くまでは 針をとつてゐるが、對支行政に開 支外交については外務省所容とし 衛として野支事物局を聞き、現地 て對支政高方針はあくまでは 文方取の具體化をはかり問題の封 し五相会職において決定を見た對 に領非領三者の連絡委員會を設置 末次內相 **ن 十七日定例縣議数官後午後一** 【東京批話】戦局の新段階に対応

闘を聴ひ、再び總督軍に御少加後

第一合磐室に於て列立邦闘者に

海邦協者に對し夫々品を貼び、更に就いて買上申上げる、扱いて單

朝鮮に 旅どの他の財祝

起版下には機督を召され、果久語

影を行はせられ、阿二時三

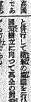
朝鮮關係の





【東京電話】末次内相は十六日午

首相と懇談





### | 中はないと述べ解へられる対実社にて今回の関目行に何等政治明| は一切衝音を避けたが側所否 作難き御思召を拜

ランス大使ナジヤール氏は十六日 國民政府要人と謎の脅談をしたフ

【香港十六日同盟】 漢口において

香港に飛ぶ

|鉄梁の歴史を三十像日間に亙り御 | であります。 准變の複発者、Bでは、上致しました。||年、和し、俗病が兵を仰録前日つ ||腰下の御宣薬の御観選があつたの ||緩の極寒につき独しく 殿下に首 の再選門を受けませられ遠路如本、生御期保せらる、優強なる、島居「韓の勇績と寛成一致の龍胡松助事られましてはこのたび、息居時下「墓を決せられ且つ今後一勝の泰公」だける内部「韓観念に基く愛國籍 視察めらせらるゝことゝ相成り、 特兵及其の遺宗族等の身の上につ

地に既し情調を受け病想に引きれ、す。此の有難さ如見石を押しまし 八个本統に対し今回の事」既を新に致しました大節でありま の神仁部に對し率り、今更張く賦一即巡り達はされるのでありますが き深く仰心を野れてせ給ふ 陛下 景脈に向い開闢しき折桃、御逆熊 殿下に

其他につき打合せななした

は京城にての即日

一議を開催、日邊東姓、鈴木並山、小本南市一會議室に促近半海所及。 本南市一會議室に促近半海所及 側原元山、松野城市の各所長参集 原大田、大利田平瀬、松山順天、 鐵道寧務所長會議

工職局長より一場の測示あり、 三甲度質施躁等。影明 市の廣大無過を記さい

突如として話題を一轉した。 學職さな日を極めて異倒 労争率も夕べに言言 せてあるのだった。 諸教切主が見てせ



刚

太五 (57)部部

稍作

では がよっとすを輝くした。 がこその方に向けられた。 影影 と 粒性が 脚に手を置か い手に置ひ、尖つたその

索。霍

円億二金本資

P J 4 兀 實 號 于 一 門 輝式 • 株 賣 版 料 肥 計 請 • 由 动 • 如 平 • 由 运 • 娘 京

社會式器料肥素室本日

、何を残しみ、何を整へ淫せる。一切空の世とわか。他を持ち

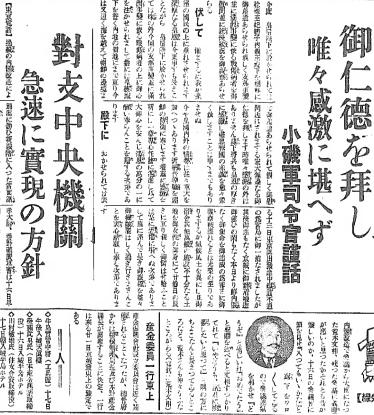
йŀ Ŷ

部品料食

さしたが、織の口から

発信 するに近人も置

け入 と人との約 乗であして第一義のものではな とても便宜上の地職であ るべきではないかっそちいことが いらうっ 歌樂し



間田並に銃後秋児を御親祭あらせ 御庭道あらせられ現しく友那重塑

に清別罪題に使る戦傷病者を御!

伏して 惟手るに我が張しまるぬ

【東京電話】過載の内閣改造によ | 別邸に動ひ新政席に入つた富寅語 | 孝大尉、番野嘉原北暫は十六日早 **覚感に間にして酵去した** 栖口機墜落

樋口大尉及び 中一躍は機関に命中

支中央機開設配用題については、

食職に於てこの方批を検討し急速

に實現の方針であるが、本問題は

「南京十六日町盟」 吉田郎隊極日

番野軍曹戰死

◇理川県彦氏(東京市場託)鎌定 彼何決議の暴思世界性神の的 天地玄黄 動れて、製館な姿をしぼつた。 な表像が建かんだ。そして、頭を 「先生、先生は、それを仰つしや

うもその方が互に利益で

響まつて宗を成し、付

· WEO & R.J. II.

国家をつくつてある

釈の思むところとだらむ これを最重の所載と通軍隊せ ・険ロに迫る皇軍の壯 質の転入は聞これを知つてゐた。 「一切空」といる音楽があるでけ しやつたのですか。その歌ろしい

たしたのが五倫であり、 どう故、それを接配する

は、自然、その田に利益 めるが、多数が理まつ

五相會議開かる

出身間似たる求次内相荒木文句

ければなられ。何勤も信すべから らにこの指に通って來た。 さら言つた時、どこからともな 知事吉

し。快楽こそこの世に於ける唯一ではないか。 人は 須く 難しむべ とても、利益のため、快楽のため五常である。とするならば、これ

2500

性刑する某々々國の心根が解ら

人間の機見した唯一の選理だ。」 臓をしたる空蛆である。が、「」 視察

聞して群に題るより、他に活く

昨の阻になって一百き概益に執

の世あるを知らなる機合

遺は首ら明らかではないか。日 『とするならば、我等の行くべき 【吉州】鬼局咸北知事は相馬産業

して殺して殺し遂ずまで安心田

影響の死刑政策依然近畿、穀







及本社佼扱い下に十八日京観朝的数化戦闘戦合きでは本由

列車頭 似事件

魃よ昇格の認可も下附されて



つて育てた君子が何の不消があ

家へ歸つたから 『京都の兩親の

養父母の誤

人金を持つて

念らが赤毛染

萬胸郎松奴塩家助入

**虎** 造以

3

美しい緑の黑髪!!

生々とした

若さと美しさ

これこそ「るり羽」の持つ魅力

一、前流ひせずとも直ぐ娘り一、 東は手庭に過で於ける。 「大阪神生神人像であける。 日本藤神堂向れにも良く 一、 最も他ひとき集中衛

香五大五谱一七二一篇化 古南及石田西坡宋—至读 香 代 史 可 本 穆—至统二 武 鹿 魯 击 地 仁 京—至统二

天氣豫報(8日)

所有のもの。 拳銃は主人

大石興行

6

期・あご明し

九日二日間限りです(午前九時より午後九時迄)

指

術等

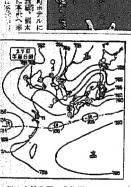
展

当 共**所**。

階

ギ p ラ

ij

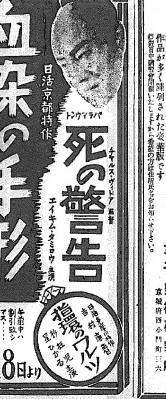


上の大立廻り

女を張り合つた一味七名捕る

エイキム・タミロウ 立演





を表現のでは、 をまれのでは、 を

**志麗遊園** 新興キネマによって問題の名浪曲 映画化なると

をして相談の喉を細かせ さして相談の喉を細かせ さと云ふ虎道ファンの見 遠せない浪曲映畵スター

水魔跳梁の中を 機上から決潰の黄河を見る

できたい活躍を置けてある我か○○部体の飛行機に便乗を許られ関対から中本に至く水準機関対十六日の関権隊員】十六日不後記者に請えたる選水の中に死を持つ支那部に採用に注出

が出来てあるのが蛇の部駅のやっ止してあるやうだが、透像や部部一一つの神、大きな中間、飛ぶと上思から見ら水はするで像 流れに部治にせかれて且つに分れ

海を中心に

ころ出た強相見を聞いてるる。一手総の指則には外上も「山川」、「神めるも

家出の元京城府廳交換手

兀山局消印の怪手紙

牛島⇒防疫陣を強化

からの値りの如く青田方に送つた「氣味そのもので動揺の軽射で益々」面に行くと稱して出て行き、京城、石井ツイの心動に全く不可削、不「 逃げのトラッ

|十六日午後||時中|||另京龍道殿州||面に逃走、東大門署にに驍連庁ト| 三九頭部に会治、週間に発酵を負債方か、来たトラックにはね飛ば 連轉手忽ち捕はる

學生勤勞奉仕團の作業內容

學務課長會議で決定

於ては智能學校又はその言宿特に女子中等學校では本部度

は主に清掃

村服治郎の御野子闘四書年

寛書いい主演

**荒井民平监督** 

系制者前中へ 18日より



口据置决定

**細目は東京で打合す** 

なるが米穀輸送の問題は本年米作

大邱の提案

种级市值(1名)

村で本月中穂可する原 部可決定か 門であつた統制者の いたが其の特殊事情なる いたが其の特殊事情なる

と云小海東である本して見るとと云小海東である本して見ると北東方面から和度行きを見ると北東方面から和度行きを見ると北東方面から和度行きを見ると北東方面から和度行きを見ると北東方面から和

を生ずる事にならうも知れないた生ずる事にならられてい間違決がない。先でとんでもない間違決めても難めて場割を日文事が以来が未の販路は北支日文事が以来が未の販路は北支

二十八年校▲併貨四分||回四分▲十九年特▲二||回四分▲十九年特▲二||四世分▲中號五分▲等

▲殊に解来が今日迄で移困した を禁に解する事なになりの理解が大田食 大世の事などを終合して見ると 大世の事などを終合して見ると それが成行さは相信結構する事 は至れない状態である

**到滿取引好望** 

見本市の結果

天候次第では大豊作

割針

京春鐵道工事

日下の處徒長柔弱が懸念

硬化せん

明糖支配强化

本秋迄に認可

結局不認可か

補銀が行営

茶杯招置 清州製作 となり前にないます。 日東京祝春時に於て様 となり前に有いた子墓中一四十 日東京祝春時に於て様 となり前に有いた子墓中一四十 個曜然一句協選を所議、八姓光一回三十人姓と徒舎倒に前 個電祭一切三十人姓と徒舎倒に前 場の名。

一段安に

安依を辿つて四面三十四 り三銭安く不味に寄付き り三銭安く不味に寄付き り三銭安く不味に寄付き 四つよあるが最近は二時白の東行きて大力国に於ける智楽も選目や大して大力国に於ける智楽も選目や大して大力国に於ける智楽も選目や大しい。

以上と目されてゐるのみか其他加つて聊入せし数量実けでも三萬級が特に良好で三非物密が本月に入

では、「大大田」 「大大田」 「大田」 「大田」

日下市場の情勢から具名と韓能すの 気法を深くしなみて低手は疾訟 高一位に選れて實質がを試える位 考 高一位に選れて實質がを試える位 考 を記しまれて實質がを試える位 考

仕手は氣迷ふ

**)** 中島政治郎商店

城底明治町 子目 和株式現物店

白米好賣行

揉合

段下の御旅情をお敷め申上

對へ奉らん事

へ奉りて 京畿道知事

甘蔗義邦謹話

**釜江原道知事謹話** 

朝鮮軍司令部御成りの東久邇宮妃殿下

元井。お羽 記話龍山七三一

# 京畿道廳に御成り遊ばさる

て歩、砂帯合の下に猛攻撃を出

て折続の豪雨に水並を掛して東地上の脚が上れる際により、一次は一点の脚が大きない。 照々たる原介の部行後河を決行 で深の基本方針につき所信を技器 で終れ時級線を銀げて破岸と突入 で深の基本方針につき所信を技器 大きれ時級線を銀げて破岸と突入

(市京工七日同盟) 十六日朝来郡、兵蔵の祗園崇橋により「毎に成立」十七日佛殿郡田坂が下山、田原文献の大海に知った我が取は、在瀬市し居東東を成しつ、蔵の本「であらが、蔵門地に現たしく動橋の歌の大海に知つた我が取は、左瀬市し居東東を成しつ、蔵の本「であらが、蔵門地に現たしく動橋の歌の歌が近に周囲、ませ、東田 たと紙部域に変明します。ことも、「中であらが、蔵門地に現代に内蔵を領中山野、長冬川 の色あり同地の語音に用いている。 財經政策の要旨

池田蔵相の説明せる

帝國の外交方針を 外相、明かにす

の抗議を反駁

答言時より外相官邸に在京外人匪 [東京電話] 字域外相は十七日午

外人記者團に對して

### 讀銃本後

本書は全國津々浦々に團員百萬を有する修養團の總非常時間に於ける銃後の國非常時間に於ける銃後の國民に、意志主體力之を後見出す。まここにを見出す。まここに希望の光を見出す。まここに希望の光を見出す。まここに希望の光を見出す。まここに希望の光を見出す。まここに希望の光を見出す。まここに希望の光を見出す。まここに希望の光を見出す。まここに希望の光を見出す。まここに希望の光を見出す。まここに希望の光を見出す。まここに希望の光を見出す。 

(內容目次大要)

## •

## ○頭痛"







のはいまでは、一般を表現を表現である。 製之

最

位訓練網領を發す

きのよ南総督

平治 光 够差盟主領

護洛門

原門原

居任回

順 座 淡 會 。

事變當時の事情を偲びつく

アジアの新世紀にかとやかしい記 軍時 砂柳島の松井大佐が

居留 民も掘りめしたう

投き極みである。 明治大帝に 肺冰に保険するの大脚心より

行かざるところであるの 質問の飢餓こそは、實に、大

今や 聖職を第三期報に入

親王殿下を御郷へ申し上るの面の方り 東久邇宮妃助子内 配の供意いよく歌手たるも後のかためますと、歴代 政く随くなりまするの時の、いよく、東亜の治安の

は 四小風に分れまして

領は今秋十一月上下南院調旦改選

通航の間ではルーズヴェルト大統

特別議會召集か

動意贈與御沙汰

中等跳球決勝戦

のイタリー図器加磁定に違力せる

財政的に破綻を來す

内地より鮮内が多い

一個しの傾倒なき今日にあつては内

□ (国) 等》 课不,自四年, 课本三旬 □ (国) 等》 课不,自四年, 课本三旬 □ 课本本国, "正本中市间安打!" □ 课本是国,吉宏! 前安打!" "我山里说,上街设备低铁之!" 面 中域生10次,川岛!" 间:10户上野运 中域生10次,川岛!" 同日:

カン虫氮

アメリカで今秋

小學コートで発行。随鎖左の通り第四日は十七日午後四時より強力 金 (2623 2115) 36 英商 敬文22 (11) 11) 20 養正

夕刊後の市場

引續き軒並安

れざる限り永遠に其の存在は特徴

スグお興へ下さい吐いたり、下痢の續くとき便の様子の思い時、お乳を **救ける一番賢い育見法です!** へて下さい。それはこの危機を切



ートにあり 二十銭より

朝鮮の否の哲者に対て然能

其の産由固より多々あらうが大一切の種の否は行品に選見さらいも

裕 忠良勇 三氏氏氏氏氏長長 出して青鮮には砂型地に工業作物 田作地方に行せれずして知って番ーが添加されることも如上の傾向を 作地方に多さは如何なる理由に基礎を単に実験するもの間ではある づくか

北京近代科學圖書館長

**一種日の人日午前五時頃知りまし** ません、といふのは今日まで戯 恰も戦の前夜を思いせるあはて方

も事態重大らしく場を掘ったり、

妙法が隣じられるのではないかと

とこうが支那側は如何に一対都元が天地から踊りまして「日

事件 が突張したといる事

した事がありましても現地解決と

陸苗代、乾沓及び輪沓

して東緑一都に行はれ特に使用像といい自る神峡の連延に在るの歓西地方並京像の南部を北瓜と、水苗代の不可能と早木街並に現作

然るに今島に於て鹽苗代は江原

らぬかやがて一定の武崩波路とし

の祭を催して山跡の壁に其の表情

のがあり含めにはしばして新雨

を生じ適等の類映をして不可能な

一般はして相称なません。専一権も大戦艦を来上総督の日子近と「時の良ひ田を紙上に歌きよがは、「像文局長 挨拶) 仰多 | 今や総州城略:移り、厦口の郡政 | 日の蔵満橋事件を同断し、その宮 軍の衝撃は到る處運職運勝一す、この既あの記念すべき七月七一を関す次第で収來設早一周年をけみして | にある を思はせ るものがありま | 敦嶷あるとほ へは水定河右岸一文山に支那が設 でした、居雷民は輝やかしい島軍

すゝめる市中はそんな風で危機一

ナペーセント、著しき時は内地へ一等に原因するものと見られてある

店留民の信頼を受け

義勇隊決死の警備

子敷育名の内鮮人と北京にとい 大使館の方針は伝統とし

談

代理大使は十七日午前十時外的 【東京電話】スメタニン駐日ソ聯

堀內次官抗議

は

や消化不良に御注意日増しに殖える下痢 見の危機

ます。宇津救命丸でまつ胃腸を整 や青便、消化不良が俄に殖えて來 また消化力を鈍らせて、お腹下し た空氣が赤さんの神經を焦立たせ 鬱陶しい梅雨期です。 じめじめし









總代理店 ② 姓玉 置 商 店

物を生かして使ふのは家庭

ボモナ用用用ナ用用ナ用 法再用の二八十七二七十三十 一生品他種種種種種種種種種種

多和 洋 康 料 理

株式では、 ・ は、 は、 、 は

生ン | 人かな用ド地ン行な深口。銀行な用になられている。 銀行な | 日なら場かべのなの流感としている。 日本のは | 一へに | 大切に | 大切に

直もする流行品がその十

言葉、指す、語音、語音、語音、音楽を大きな、--on地でマナナが特に解析

でに

制める

1717

特選發表流行

る信

方が

(小四種の)宣物大型館でナからこの通り取らさへすれば能がでも配成にモレンエレの手

るまずに対象

相四

(0八一門間 田町町山城 24十七年

京城實業野球

春季リーグを顧みて

女子中等體育大會 排球—午前九時廿分京城河場式——午前八時▲陆上、

けらのスポーツ

學大國帝各 **臺筒常院病** 

泉間の間活 

計 會 式 株 店商吉友澤藤 町藤園區東市版大 町木區根本目文京 町木區根本目文京

コフィースル リア 1ゼル ルケナドント ルルルルトトトトトー リートトトトー セ ゼゼゼ ゼ 68888888

(爾足)で(5)の形をして

本社主語 花帽導第二行

雷本社 選係

或

民

鼝

**花柳壽美さんの振付出來る** 

(2) に返り

明和和金の値上を行ったばかりに一路しその他に報道理に京被に特殊。

事間と得して次のそうなことを事 由は能材料の職費といふのである

の本様は泉焼府内一局に酸樹した記を報じてある、理

タクシー料金値上げ

でればたと朝鮮な林崎を二つ朝

チ炭粧院 林明子))

とが脱明立てられます(京城エク 思理的に言つても材質の果汁に含

洗濯屋さんの要らぬ

蒸氣アイロ

・トン(右足)次に兩足を撤 - トン (爾尼) -

け我へを知られものと如く何時も とは日本で云へばもら中草の女性 ルレーネデイトリッ

お肌は美しく

胡瓜と林檎で

ディトリッヒの秘法

田中德太郎氏本府羅譚官

0)

仲好

21で(3)の形のまい右足

「使用されることとなりますと、「翻みが出來た場合、衆差にお直自のやうにス・フ製品が超劇的」「振でたく、たとへばお召物に留 フの手入れ、収扱ひも、なみ大 とは本で混合と機の翻がくべつ甲、角製、煮場の植な くし類の手入れ

細なが出来に協会、残差に 第一四を平均に吹くといるこ になるといふこともなかし

を結果になり殴りでありま

ンの家庭化』を目接して、お安く「副門家が使つてゐる議報アイロ

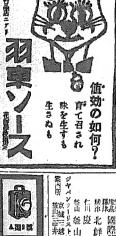
赤ちやんの睾丸

紙上病

うつぶせに寝る

育て召され 生さぬも 味を生する







動制され 物。な 亿 初

關抗調 o n

荒

して翻声な響金を買りながらな

【第四局】

方を

牛乳添加料 一番進んだ

をる!~丈夫に獲育します。

糖00×を加へて下さ5。 牛乳の不足榮鬱分 ですから、牛乳を用ふる場合しは、必ず育兒 ず、血色も悪くなり、酸胃が退れます。

背員って立つかは生の赤紅生の赤紅生の赤紅生の赤紅生の赤紅生

. (追望 或自己非道是五大) 店舶醫兵是田龍 世 中超过市原大 元寶寶

の定けてす。

七月の研究生募集 京城内西が門町三六

てつ揃が調色な富豐

水





**行で赤ちや人を育てますと、休証が充分増されたべて勢資業が足りませんので、半乳だ年乳に比べて勢資業が足りませんので、半乳だ年乳は砂乳代用品として一番よろしいが、ほ** 

小場民が角頭の網點へ一矢。しと見て三五歩と取る。同角、四た。五筋の折衝を索直に移。荒巻氏は小亨二分の後、茂支へ無

入り亂れての攻防戰

六段飯塚

御一郎

是が昨日の指し終一四銀は何れも順

旅行!

おつと待て

おいちや大變だ

J11JEIDO GINZA TOLYO

プケ・脱け毛を防止し、毛根のミッは強力な管標的作能によった。 なけ性でお憎みの方に

は夏・ 太りの

なや

果"か

社會式株業工品食乐森

「春川」道内金融組合では組合日一が十二年度は一躍百廿萬國に動者

目に見えぬ收入増

技術員會議 **江原道農業**  消費節約で資源增强目指し

江原道當局で獎勵

に懲が出て分析の手配

製成低を裏出したが初日早くも 面纸一枚、百四条廿二枚、五

過半敷捌く

北仁川港の工事場異問

### 高時國家財政経済へ掘力せ 報感の前に 忠北官民にその指針を示す

丁まで左の存項につ

仕學中の妻帶

陋習の打破を期し

高敞中學校が起つ

本から昂進し、めき

批

和月十三日から

【金州】最近は大分減少したが從 | 育上面白くないといふので味ぎ

道民の所得に應じて割當

江原道各郡へ通達

及君(")。)—高知縣區圖郡鎮川町出一下石油食此々且歩兵伍區數地正

製炭技術實習

十六日韓州で盛大だテッ

**小前六時大湖で利用して朝鮮東側** 

かがれてき

の質行と期代しなることにない

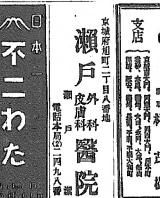
### 一硅石を發見 のに空瓶が不足するので愛園婦人

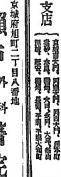
## 十四百度の熱に耐へる良質 埋藏量は廿五萬ト



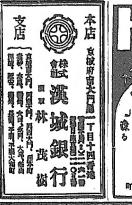


A













從來の强壯劑さ

るけ悲に理學

の代時新

異り内容成分の

理のエツセンス 示す如く現代學

特殊作用

○大学生短報(中古次登品) - 足回医三十輪 (中古次登品) - 足回医三十輪 (中古次登品) - 足回医三十輪 (中古人) - 全 (中古人) - 日本 (中古人) -761日 三国五十四

〇海軍水兵短靴 品牌軍式并革制上北 八國軍十國 で品は物取物下の水丸畑配を改造加工したる丈夫的短線に大倉向品 ●韓水兵型黒革短靴

(MT) (中西遊話)

犯人は二十歳の娘

死體始末中にお繩

殺害し、その指で死亡を成分せ

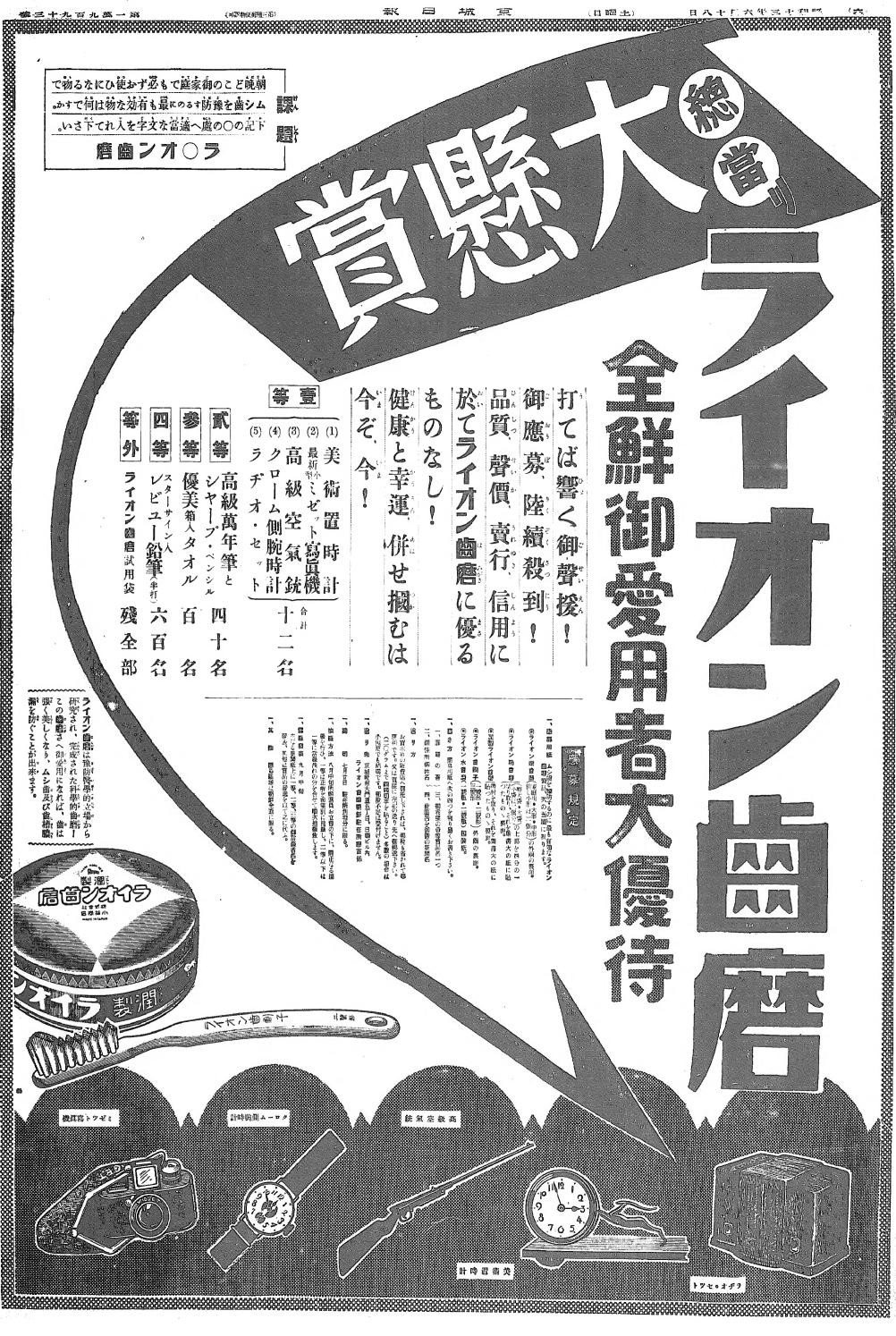
麥の適期刈

仁川】府内萬石町七〇スタンダ

なす婴!

双叉八





金一封御下賜

戸籍の上に表示

ガ働者の生活を脅す

同票制度を通帳で

集ぐる悪質ブロ

京畿道、浮動勞働者の安定に乘出す

年一つぶら下げてるるプローカー

# 前線の勞苦を偲ばせらる

の丸辨當』を召され

開資及び補行賞を授契され

し、批伴れにかねて馴染の著稿を 連るのを感じた加藤は、死を保悟

**集金横領の發覺を怖れて** 

る、それでなくてさへ整動群の い仕事哲を質問けては常に伊動す





店商新中田

加索 海湖湖(川村) 京湖湖市一丁山南州湖地方丘 京湖湖市一丁山南州湖地方丘

家庭常備教急藥 問題做的意 · 硝子食器·荒物 河高 家庭用金物 

### 時局對應委員會へ半島の兩代表 新廃り からコロジイン ら国際に 加藤翠松堂 家を求む は商店向きの貸







鮮展特選狀及

逐賞授與式

洗布所の外交員

防共ラインを往くの途

魔暴虐の跡を

協定語|基面江を一つ距でより際に劉時し| 於ける後我の駅後、気分の道道を

、百米の對岸に見る

同志の激勵に送られ

轉向の闘士行く

©では局質器 され。 胃くりせきせ 1・1 g 深の情算者が | 所で何応から眺報の快韻文を手交

富士こそ日本の姿

城大對九大蹴球

局引分け

淡江へ跳込む ES S

























描"

٤



い関れ行です の整倍でも近ば素階

可効散は 頭った

經濟にも大関上

本の習慣通り食物に含ったと云ふ

既長福島の美数

























館の間ははるり) おためし下さい

宇





<sup>影景器更</sup>和思 北柳病專門

京城府元町一丁目 (養婦商環館学館)

岡内科醫院

名亦計為領國五十個

アンカー

佐田 (朝政日終語 東西日) (朝政日終語 東西日)

**呷この労働群**・ の動く、が機能性質のプローカーに、分齢、事金の少い重取致命の一致にも多しればマッカリに飲まれて仕舞かし、特徴となって飛が頭尖したを指導して利力・再共で、入事も八十致という。 他は、不は、有能につけこんで現れたの。 で、その結果が勝者語して「難を確認」と言って現金財政にう「機能したが流に上供を指導しる事になる。 「人事も八十致という。 と、大きの月振として棚をきめせて、「地方原東支係ではこのはとこの線」和歌のある行為ではためつたの目が被挙を中心にはらまかれて「来にい有能につけこんで現れたの」で、その結果が勝者語して棚をきめせて、「地方原東支係ではこのにとこの線」和歌のある行為ではためつかり、日本教工・「人事も八十致とい」「の日の題をでその日を基して行く」「の地位は今では上本書の一つの「足に勝まされてめる折構、京都道」「後で記載する似りであつ)力・「方式で「人事も八十致とい」「の日の題をでその日を基して行く」「の地位は今では上本書の一つの「足に勝まされてめる折構、京都道」「後で記載する似りであつ)力・「古書」「人事も八十致とい」「「特別」」 九十五銭で一人平均九十銭そ今で、20日の聖ぎでとの日とは、と言う、「もの也立まをでましたもう」こうことの歌劇歌金は「日八十五銭から」「哪一 大 勢 働者」「一億はそ「に増取されるわけた。このプロカモの歌劇歌金は「日八十五銭から

『野死』と記録しその紫管を表示 | 何々に於て死亡』 云々の文字を

ゲルトネル氏菌の愛見さる

乱城大醫學部に凱歌

